

04 | 芽依（めい） / 小2 女児・ポケピースユーザー

ピンクとオレンジを混ぜて「自分だけの色」を作る——メイクは、自分で考えて自分で発明するクリエイティブな時間

3 分ブリーフィング

【パート A：今日のメイク】

根拠：「自分で考えた色だから好き」「自分でこうしようって決めてやったから」「誰かに言われてじゃなくて」という発言。

推論：メイクの満足感の源泉が「かわいくなれた」という結果よりも、「自分で決めて自分でやった」というプロセスにある。やりすぎとママに言われてもモヤっとしながら「自分ではかわいいと思ってるから」と返す姿勢に、他者評価より自分の感覚を優先する軸が見える。

FD：めいちゃんのメイクの満足感は「自分で作った」というプロセスそのものにある。結果より過程を楽しむクリエイターとしての姿勢がこの段階から表れている。

【パート B：メイクを始めたきっかけ】

根拠：「妹のおもちゃで遊んでみたら楽しくなった」「おもちゃじゃなくて本物でやってみたい」「誰かに教えてもらったわけじゃないから、自分で上手になった感じがして」という発言。

推論：メイクへの入口は偶発的だった。妹のおもちゃで遊んでみるまでは「自分には関係ない」と思っていたが、やってみたら物足りなくなり本物へと向かった。この「やってみたら止まらなくなった」という流れは、めいちゃんの中にある探求心・向上心の強さを示している。

FD：めいちゃんのメイクへの入口は憧れではなく偶然の体験だった。しかし一度始まると「もっとうまくなりたい」という内発的な動機が強く働く構造になっている。

【パート C：使っているアイシャドウのこと】

根拠：「自分のお金だし、自分で決めた」「自分で選んだから大事にしようって思って」「何回もやってたらちょっとうまくなってきた。自分でわかる」という発言。

推論：購買においても「自分で決めた」という感覚が満足度の核心にある。
TikTok の子が使っていたキャンメイクではなくお店で実物を見て自分で判断したポケピースを選んだ点も、他者の影響を受けながらも最終的には自分の目で決める姿勢を示している。

FD：めいちゃんの購買動機の核心は「自分で選んで自分で決めた」という自律感にある。ブランドや友達の影響より、自分の目と判断が優先される。

【パート D：キャンメイクについて】

根拠：「TikTok の子が使ってたのと同じだから。それ使ったらあの子みたいなメイクに近づける気がして」「めっちゃ嬉しいと思う。TikTok の子と同じになれた感じがすると思う」「友達に借りて使ってみてやっぱりかわいかった」という発言。

推論：キャンメイクはめいちゃんにとって「TikTok のお姉さんと同じツールを手に入れること」を意味している。ただしそれは単なる同一化欲求ではなく、同じツールを使って自分なりのメイクを作りたいという創作欲求と結びついている。

FD：キャンメイクへの欲求は TikTok のお姉さんへの憧れが入口だが、本質は「同じツールで自分のメイクを作りたい」というクリエイティブな動機にある。

【パート E：メイクを頑張る理由】

根拠：「自分で考えて作る感じが楽しい」「自分で発明した感じ」「友達にどうやってやったの？って聞いてきて嬉しかった」「自分が先生みたいで得意な感じ」という発言。

推論：メイクの色の組み合わせを「発明」と表現し、それを友達に教えることに「先生みたいで得意な感じ」を覚えるめいちゃんにとって、メイクは単なるおしゃれの手段を超えて、創造・発信・承認のサイクルを生むクリエイティブな活動になっている。

FD：めいちゃんにとってメイクは「作って・見せて・教える」という創造と発信のサイクルの中にある。自分が生み出したものを人に認められることが最大の喜びになっている。

【全体総括】

根拠：「自分で考えた色だから好き」「自分で発明した感じ」「自分で練習して自分でうまくなりたい」「ピアノと似てる」「自分が先生みたいで得意な感じ」という発言が全パートを貫いている。

推論：メイクへの入口は妹のおもちゃという偶然だったが、一度始まると「もっとうまくなりたい」「自分で考えたい」という内発的な動機が強く働き続けている。TikTokのお姉さんへの憧れはあるが、その子みたいになりたいというより、同じツールを使って自分なりのものを作りたいという創作欲求と結びついている。

FD：めいちゃんにとってメイクは「自分で考えて、自分で作って、自分でうまくなっていくもの」。メイクはめいちゃんにとってクリエイティブな自己表現の場であり、作って・見せて・認められるというサイクルの中で喜びを見出している。

対象者プロフィール

- ・ 氏名：芽依（めい）
- ・ 学年：小学2年生・女兒
- ・ 居住エリア：福岡県久留米市
- ・ 父職業：家電量販店
- ・ 母職業：パート
- ・ 小学校種別：公立小
- ・ 生まれ順：第1子（妹5歳）
- ・ 世帯年収：450万
- ・ お小遣い：なし
- ・ 使用ブランド：ポケピース（6色アイシャドウパレット）
- ・ メイク頻度・シーン：月4回・週末お出かけや家での練習時
- ・ 購入区分：お年玉を原資に、親同伴で自購入
- ・ CANMAKE 購入意向：とても買いたい

発言録

パートA：今日のメイク

AI モデレーター：こんにちは。今日は芽依ちゃんのメイクのこと、いろいろ教えてください。よろしくね。何を言っても正解・不正解はないから、思ったことを正直に話してね。今日は何て呼んだらいい？

芽依：めいって呼んでください。

AI モデレーター：めいちゃんね。よろしく。じゃあさっそく聞かせてね。今日はどんなメイクしてきてくれた？どこか頑張ったところや、お気に入りのところを教えて。

芽依：アイシャドウつけてきた。ポケピースの。ピンクとオレンジ混ぜてみた。

AI モデレーター：ピンクとオレンジ混ぜてみたんだね。混ぜてみてどんな感じになった？

芽依：なんかかわいい色になって。自分で考えた色だから好き。

AI モデレーター：自分で考えた色だから好きなんだね。自分で色を混ぜるのって、どんな気持ち？

芽依：楽しい。なんか自分だけの色って感じがして。

AI モデレーター：めいちゃんが目指してるメイクってどんな感じ？誰かお手本にしてる人いる？

芽依：TikTok で見てる子がいて。なんかかわいくてきれいなメイクしてる。

AI モデレーター：TikTok で見てる子なんだね。その子のどんなところが好き？

芽依：色の使い方がかわいくて。あとなんかキラキラしてて。私もそんな感じにしたい。

AI モデレーター：メイクってどんな時にしたくなる？

芽依：お出かけの時と、家で練習する時。

AI モデレーター：家でも練習するんだね。練習ってどんな感じですか？

芽依：鏡の前でいろいろ試してみる。うまくできた時は写真撮ったりする。

AI モデレーター：その写真ってどうするの？

芽依：見返したり。あとたまにママに見せる。

AI モデレーター：ママはなんて言う？

芽依：かわいいねって言ってくれる。でもたまにやりすぎって言われる。

AI モデレーター：やりすぎって言われることもあるんだね。その時どんな気持ちになる？

芽依：ちょっとモヤっとする。でも自分ではかわいいと思ってるから。

AI モデレーター：メイクした日としない日って、気持ち違う？

芽依：全然違う。メイクした日はなんか気分がいい。テンションが上がる感じ。

AI モデレーター：それってどこから来る感じがする？

芽依：なんか、かわいくなれたって思うから。あと自分で作った感じがするから。

AI モデレーター：自分で作った感じ、か。それってどういう意味？

芽依：自分でこうしようって決めてやったから。誰かに言われてじゃなくて。

AI モデレーター：TikTok で見てる子って、めいちゃんと同じくらいの歳の子？それとも大きい子？

芽依：大きい子。中学生とか高校生くらいの感じ。

AI モデレーター：同じくらいの歳の子がメイクしてる動画は見ないの？

芽依：見たことあるけど、なんか大きい子の方が好き。

AI モデレーター：なんで大きい子の方がいいの？

芽依：メイクがうまくて。なんかかっこいいから。私もああなりたいたいって思う。

AI モデレーター：ああなりたいたいって思うんだね。その子みたいになりたいって、メイクだけの話？それとももっとその子みたいになりたいって感じ？

芽依：メイクだけじゃなくて...なんかその子全体がかわいいから。なりたいたいって思う。

AI モデレーター：その子のどんなところが一番かわいいと思う？

芽依：なんか自信がある感じ。堂々としてて。メイクもかわいいけど、なんかかっこいい感じがする。

AI モデレーター：めいちゃんもそんな感じになりたいって思う？

芽依：うん。なんか自分もそうなりたい。

パートB：メイクを始めたきっかけ

AI モデレーター：めいちゃん、メイクっていつからしてるの？最初にやってみたのいつ頃か覚えてる？

芽依：1年生の終わりくらい。

AI モデレーター：最初にやってみようと思ったのって、なんで？

芽依：妹がいるんだけど、妹のおもちゃのメイクセットで遊んでたら楽しくなってる。

AI モデレーター：その時どんな気持ちだった？

芽依：なんか本物でやってみたくって思ってた。おもちゃじゃなくて。

AI モデレーター：おもちゃと本物って何が違うと思った？

芽依：おもちゃはなんか色がうすくて。本物の方がちゃんとかわいくなれる感じがして。

AI モデレーター：その後どうしたの？本物が欲しいってなった時。

芽依：ママに言ったら、最初はまだ早いわって言われた。

AI モデレーター：その時どんな気持ちだった？

芽依：悲しかった。でも諦めなかった。

AI モデレーター：どうしたの？

芽依：何回も言っていたら、お年玉で買っていいって言ってくれた。

AI モデレーター：お年玉で買うって決まった時どんな気持ちだった？

芽依：やったーって思った。自分のお金で買うから、自分で選んでいいって言ってもらえて。

AI モデレーター：自分で選べるってわかった時、どんな気持ちだった？

芽依：嬉しかった。どれにしようってずっと考えてた。

AI モデレーター：どうやって選んだの？

芽依：TikTok で見てた子が使ってたやつを探して。あとお店でいろいろ見て。

AI モデレーター：お店で見てみてどうだった？

芽依：いっぱいあって迷った。でもポケピースが色がかわいくて。値段もちょうどよくて。

AI モデレーター：値段って気にしてたの？

芽依：うん。お年玉だから使いすぎたくなくて。

AI モデレーター：メイクを始めてから何か変わったと思うことある？

芽依：なんか...毎日が楽しくなった感じ。練習するのが楽しくて。

AI モデレーター：練習してうまくなってきたって感じがする？

芽依：うん。最初よりは全然うまくなった。自分でわかる。TikTok の子みたいにはまだできないけど。

AI モデレーター：うまくなってきたってわかる時どんな気持ちになる？

芽依：なんか嬉しい。もっとうまくなりたいって思う。誰かに教えてもらったわけじゃないから、自分で上手になった感じがして。

AI モデレーター：それって大事なの？

芽依：うん。なんか自分でできるようになった感じがするから。

AI モデレーター：妹ちゃんのおもちゃで遊ぶ前って、めいちゃんにはメイクしたいって気持ちあった？

芽依：うーん...そんなに考えてなかった。

AI モデレーター：妹ちゃんのおもちゃで遊んでみるまでは、メイクって自分がするものって感じじゃなかった？

芽依：うん。なんかまだ関係ないって思ってた。

AI モデレーター：それが妹ちゃんのおもちゃで遊んでみて変わったの？

芽依：うん。やってみたら楽しくて。なんか急に自分もやりたいてって思った。

AI モデレーター：その時って妹ちゃんと一緒に遊んでたの？それとも一人で？

芽依：妹が使ってるの見てたら、私もやってみたくなくて。妹に借りた。

AI モデレーター：妹ちゃんがやってるの見てどんな気持ちになった？

芽依：なんか楽しそうだなって。私もやってみようって。

AI モデレーター：実際にやってみてどうだった？

芽依：楽しかった。でもおもちゃだから色が薄くて物足りなくて。本物が欲しくなった。

AI モデレーター：妹ちゃんめいちゃんより小さいのに、なんで妹ちゃんのおもちゃがきっかけになったんだろうって思う？

芽依：うーん...妹がいなかったら気づかなかったかも。おもちゃで遊んでみなかったら、まだメイクって自分には関係ないって思ってたかも。

AI モデレーター：妹ちゃんって今もそのメイクのおもちゃ使ってるの？

芽依：うん。今でも使ってる。妹はそのおもちゃがお気に入りです。

AI モデレーター：めいちゃんは今も妹ちゃんのおもちゃで遊ぶことある？

芽依：ない。本物があるから。おもちゃはもう物足りなくて。

AI モデレーター：妹ちゃんはめいちゃんが本物のアイシャドウ持ってるの知ってる？

芽依：知ってる。なんか羨ましそうにしてる。

AI モデレーター：それ見てめいちゃんはどんな気持ちになる？

芽依：なんかちょっと得意な感じ。私の方が大きいから本物使えるって感じ。

パートC：使っているアイシャドウのこと

AI モデレーター：めいちゃん、今使ってるポケピースのアイシャドウ、これだね。お店で初めて見た時どんな気持ちだった？

芽依：かわいい！って思った。色がいっぱいあって全部使いたって思って。

AI モデレーター：色がいっぱいあるのってどこがいいの？

芽依：いろんな組み合わせができるから。毎回違う感じにできるから飽きない。

AI モデレーター：ポケピースを買う時、ママとお店に行ったの？

芽依：うん。ママと一緒にいった。

AI モデレーター：お店でママはなんて言ってた？

芽依：最初はいろいろ見てたけど、私がこれがいいって言ったらじゃあそれにしなって言ってくれた。

AI モデレーター：自分で選んだって感じがした？

芽依：うん。自分のお金だし、自分で決めた。

AI モデレーター：それってどんな気持ちだった？

芽依：なんかすごく嬉しかった。自分で選んだから大事にしようって思って。

AI モデレーター：買った後、初めて使ってみた時どうだった？

芽依：嬉しかった。家に帰ってすぐ練習した。

AI モデレーター：練習してみてどうだった？

芽依：思ってたよりうまくできなかったけど、嬉しかった。何回もやってたらちょっとうまくなってきた。

AI モデレーター：今はどのくらいうまくなったと思う？

芽依：最初よりは全然うまくなった。自分でわかる。TikTok の子みたいにはまだできないけど。

AI モデレーター：TikTok の子みたいになるのって、難しいと思う？

芽依：難しいけど、練習したらなれるかなって思ってる。

AI モデレーター：それっていつ頃なれると思う？

芽依：うーん...中学生になったらもっとうまくなってると思う。

AI モデレーター：中学生になったらどんなメイクしてみたい？

芽依：もっといろんな色使いたい。アイライナーとかも。あとキャンメイクも使ってみたい。

AI モデレーター：さっき TikTok で見てた子が使ってたやつを探したって言ってたけど、その子が使ってたのってポケピースだったの？

芽依：ううん、違う。その子が使ってたのはキャンメイクだった。

AI モデレーター：キャンメイクだったんだね。じゃあなんでポケピースにしたの？

芽依：キャンメイクも欲しかったけど、お店で見たらポケピースの方が色がかわいかったから。あとちょっと安かった。

AI モデレーター：お店で実際に見てポケピースの方がかわいかったんだね。キャンメイクと見比べてどこが違った？

芽依：ポケピースはなんかピンクとかオレンジとかかわいい色が多くて。キャンメイクも好きだけど、その時はポケピースの方が気になって。

AI モデレーター：今もキャンメイクは気になってる？

芽依：うん。今でも欲しい。次買うならキャンメイクにしたいって思ってる。

AI モデレーター：ポケピースって、ポケモンが描いてあるじゃない。それってどう思った？

芽依：かわいいと思った。ポケモン好きだから。

AI モデレーター：ポケモンが描いてあるから選んだってのもある？

芽依：それもある。でもやっぱり色がかわいかったのが一番。ポケモンはなんかおまけみたいな感じ。

AI モデレーター：友達にポケピース見せた時、ポケモンのことなんか言われた？

芽依：かわいいって言ってた。ポケモン好きな子多いから。

AI モデレーター：ポケモンが描いてあることについて、めいちゃん自身はどう思ってる？

芽依：かわいいと思ってる。ポケモン好きだから嬉しい感じ。

パートD：キャンメイクのイメージ・魅力

AI モデレーター：めいちゃん、これがキャンメイクのアイシャドウね。見てどんな感じがする？

芽依：かわいい！なんかきれいな色。

AI モデレーター：どんなところがかわいいと思った？

芽依：なんか色の組み合わせがきれいで。パッケージもおしゃれな感じがして。

AI モデレーター：ポケピースと比べてどんな違いがある？

芽依：キャンメイクはなんか大人っぽい感じがする。ポケピースよりちょっとかっこいい感じ。

AI モデレーター：TikTok で見てた子が使ってたのもキャンメイクだったって言ってたけど、それ見てた時からずっと欲しかった？

芽依：うん。ずっと欲しかった。でもお店でポケピース見てそっちにした。

AI モデレーター：キャンメイク、今も欲しいって言ってたけど、どんなところが一番欲しいと思う理由？

芽依：なんか TikTok の子が使ってたのと同じだから。それ使ったらあの子みたいなメイクに近づける気がして。

AI モデレーター：キャンメイクって友達も持ってる？

芽依：1人持ってる。クラスの子。

AI モデレーター：その子が持ってるの見てどう思った？

芽依：いいなって思った。使ってみたかった。

AI モデレーター：その子に借りたりはしなかったの？

芽依：借りたことある。ちょっとだけ。

AI モデレーター：借りて使ってみてどうだった？

芽依：やっぱりかわいかった。自分のが欲しいって思った。

AI モデレーター：次買うならキャンメイクって言ってたけど、いつ買えそう？

芽依：次のお年玉で買おうって思ってる。

AI モデレーター：買ったらどうしたい？

芽依：TikTokの子みたいなメイク練習したい。あと友達に見せたい。

AI モデレーター：見せたらどうなると思う？

芽依：かわいって言うってくれると思う。一緒に練習したりできるかなって。

AI モデレーター：めいちゃんにとってキャンメイクってどんな感じ？

芽依：めっちゃ嬉しいと思う。TikTokの子と同じになれた感じがすると思う。

パートE：メイクを頑張る理由

AI モデレーター：めいちゃんって、アイシャドウ以外にも何かメイクしてるものってある？

芽依：リップ。ママのやつたまに借りてる。

AI モデレーター：リップはどんな時に使うの？

芽依：お出かけの時。アイシャドウと一緒につける。

AI モデレーター：めいちゃんってなんでメイク頑張ってると思う？

芽依：うーん...かわいくなりたいから。あと練習してうまくなりたいから。

AI モデレーター：うまくなったらどうしたい？

芽依：TikTokの子みたいにできるようになりたい。自分でいろんなメイクができるようになりたい。

AI モデレーター：誰かに教えてもらうんじゃなくて、自分でってこと？

芽依：うん。自分で練習して自分でうまくなりたい。

AI モデレーター：それって何かがんばってることに似てる感じがする？

芽依：うーん...なんか習い事と似てるかも。ピアノやってるんだけど、練習してうまくなる感じが似てる。

AI モデレーター：ピアノうまくなった時ってどんな気持ち？

芽依：嬉しい。自分でできたって感じがする。メイクも同じ感じ。

AI モデレーター：これからやってみたいメイクってある？

芽依：アイライナーやってみたい。あともっといろんな色の組み合わせ試してみたい。

AI モデレーター：アイライナーのどんなところがやってみたいの？

芽依：目がはっきりする感じがカッコいくて。TikTokの子もよくやってて。

AI モデレーター：いろんな色の組み合わせ試してみたいのって、なんで？

芽依：なんか、毎回違う感じにしたいくて。同じのだと飽きちゃうから。

AI モデレーター：違う感じにするのって何が楽しいの？

芽依：なんか...自分で考えて作る感じが楽しい。この色とこの色合わせたらどうなるかなって。

AI モデレーター：うまく組み合わせができた時ってどんな気持ち？

芽依：やったーって思う。なんか自分で発明した感じ。

AI モデレーター：それって誰かに見せたくなる？

芽依：うん。ママに見せたり、写真撮ったり。

AI モデレーター：その写真って誰かに送ったりもするの？

芽依：友達に送ったことある。LINEで。

AI モデレーター：友達なんて言ってた？

芽依：かわいいって言ってくれた。どうやってやったの？って聞いてきて。

AI モデレーター：その時どんな気持ちだった？

芽依：なんかすごく嬉しかった。自分が考えた組み合わせだから、教えてあげたいって思った。

AI モデレーター：教えてあげた？

芽依：うん。この色とこの色を混ぜるといいよって教えた。

AI モデレーター：その時どんな気持ちだった？

芽依：なんか得意な感じ。自分が先生みたいで。